

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
遠藤 太	地域包括ケア講座	教授	修士 (看護学)	精神看護学 臨床倫理学 基礎看護学	①精神科看護倫理実践テキスト,精神看護出版：68,76,96,159-163（2024） ②がんの親をもつ子どもたちをサポートする本:親のがん、家族の一大事を経験する子どもたちと伴走するために,青海社（2017） ③藤澤美穂,氏家真梨子,畠山秀樹,高橋智幸,遠藤太,松浦誠:看護学部における実習ストレスへのサポートに関する文献検討,岩手医科大学教養教育研究年報（54）35 - 45 （2019） ④基盤研究C「倫理調整における精神看護専門看護師の倫理的意意思決定過程」（2019～2024 年度） ⑤遠藤太，熊地美枝，高崎邦子.「ケアの倫理」授業後の看護学生の倫理的なゆらぎ―授業実施後の感想のテキストマイニング分析から―. 岩手医科大学看護学部紀要 1：11－21（2023）
岩渕 光子	地域包括ケア講座	教授	博士 (健康科学)	地域看護学 公衆衛生看護学	①Iwabuchi M., Kogawa T.: Relationship of preschoolers' chronotype with parental sleep habits and consideration of sleep behavior/青森保健医療福祉研究.5(1):1-10(2023) ②岩渕光子，蘇武彩加，上林美保子:過疎地域における中小規模医療機関の看護現任教育体制の現状と課題/日本農村医学会雑誌.68(5)：595-605（2020） ③岩渕光子，田口美喜子，三浦紀恵，藤村史穂子:岩手県における新人保健師が所属する職場内現任教育の実践の現状/岩手県立大学看護学部紀要.21:1-8（2019） ④岩渕光子，工藤朋子，藤村史穂子，三浦まゆみ，A市住民の最期の療養場所に関する意向/岩手看護学会誌.10(2):3-11（2016） ⑤文部科学省研究費補助金「課題名：幼児のクロノタイプ別親子睡眠教育プログラムの開発と効果検証」（2023～2025年度）
熊地 美枝	地域包括ケア講座	准教授	修士 (看護学)	精神看護学	①熊地美枝. 司法精神医療とスティグマ 当事者のセルフスティグマと支援者のもつスティグマを踏まえたケアの行方. 司法精神医学20（1）：56－60（2025） ②Sasaki Miwa, Kumachi Mie.:Experience of students who participated in psychiatric nursing educational program aiming at competency development. Journal of Rural Medicine,19(1):24-32（2024） ③遠藤太，熊地美枝，高崎邦子.「ケアの倫理」授業後の看護学生の倫理的なゆらぎ―授業実施後の感想のテキストマイニング分析から―. 岩手医科大学看護学部紀要 1：11－21（2023） ④文部科学省研究費補助金「課題名：司法精神医療におけるピアサポートの様相とその活用に関する研究」2019～2022年度 ⑤熊地美枝，高崎邦子，佐藤るみ子，宮本真巳, 指定入院医療機関における対象行為についての話し合いの実際. 臨床精神医学36（9）:1153－1161(2007)
野里 同	地域包括ケア講座	准教授	博士 (看護学)	高齢者看護学基礎 看護学 臨床看護医学	①文部科学省研究費補助金「課題名：低温熱傷に対する新規予防策の開発とエビデンスに基づく確かなケアの確立」（2025～2029年度） ②野里同,菊池佑弥,舘向真紀「クラウド型クリッカー「slido®」を使用した双方向授業の効果と課題-老年看護学概論での活用事例-」/岩手医科大学看護学部紀要.3：1-6（2025年） ③野里同,菊池佑弥, 「ドブタミン塩酸塩による血管外漏出性皮膚傷害へのα遮断薬の局所注射に関する予備検討」/看護理工学会誌.12：17-21（2024年） ④野里同,武田利明,「カテコラミン製剤の漏出性皮膚傷害に対する電法の効果に関する基礎研究」/日本看護科学学会誌. 41：391-394（2021） ⑤野里同,高橋亮,武田利明,「カテコラミン製剤の血管外漏出による皮膚傷害に関する基礎研究」/日本看護技術学会誌.19：146-153（2020年）

高崎 邦子	地域包括ケア講座	講師	修士 (看護学)	精神看護学	①文部科学省研究費補助金（遠藤太，熊地美枝，高崎邦子）：課題名「倫理的対話：リフレクティング」が精神科看護師の倫理的コミットメントに与える影響，2024年～2028年度 ②高崎邦子：精神障害領域におけるピアサポーターに関する国内における研究動向,第34回日本精神保健看護学会(2024) ③高崎邦子：看護学領域における「安心」に関する文献レビュー,第18回医療の質・安全学会学術集会(2023) ④遠藤太,熊地美枝,高崎邦子：「ケアの倫理」授業後の看護学生の倫理的なゆらぎ-授業実施後の感想のテキストマイニング分析から-,岩手医科大学看護学部紀要,1,p.11-21,(2023) ⑤熊地美枝，高崎邦子，佐藤るみ子，宮本真巳,指定入院医療機関における対象行為についての話し合いの実際.臨床精神医学36（9）:1153～1161(2007)
舘向 真紀	地域包括ケア講座	特任講師	修士 (看護学)	高齢者看護学 臨床看護学 基礎看護学	①文部科学省研究費補助金「課題名：介護老人保健施設での多職種協働による質の高い看取りのための教育プログラムの開発」（2022～2025年度） ②舘向真紀，野里同，菊池佑弥．介護老人保健施設における多職種連携に基づく見取りの実践と課題/日本老年看護学会第29回学術集会（2024） ③舘向真紀，三浦まゆみ，三浦幸枝．岩手県の介護老人保健施設における看取り時の役割に関する看護職と介護職の認識/岩手医科大学看護学部紀要，1：1-10（2023） ④舘向真紀，野村陽子．訪問看護ステーション管理者の新卒看護師の採用意向とその関連要因/日本在宅ケア学会誌，26：120-128（2022） ⑤舘向 真紀，中村 一美，春山 祐美子，藤井 京子，佐藤 香里，西村 美和，村松 洋子，藤澤 純子，三浦 幸枝．長期ケアに従事する看護師への体験学習を中心とした倫理教育プログラムの効果/第42回日本看護科学学会学術集会（2022）
赤井 純子	地域包括ケア講座	助教	修士 (保健学)	地域看護学	①赤井純子、東日本大震災からの一週間の看護職の労働実態－性別・婚姻が災害時の労働に与えた影響－、2015（修士論文） ②大澤扶佐子,赤井純子,松岡真紀子,岩渕光子,藤原弥生：保健師基礎教育における新型コロナウイルス感染拡大に伴う代替実習の実践報告,第33回岩手公衆衛生学会誌,P 8 - 9 （2022） ③赤井純子、岩渕光子、事崎由佳、丹野高三、照井春樹、榎澤佳澄実、東日本大震災後の岩手県における高齢者の不眠症状の実態/第15回岩手看護学会学術集会抄録集P88-89（2022）
五日市 瑠美子	地域包括ケア講座	助教	修士 (人間学)	地域看護学	①五日市瑠美子,尊厳死に関する倫理的諸問題－看護師の尊厳死に対する認識を通して－,2025（修士論文） ②五日市瑠美子,奈良貴子,患者の希望を取り入れた術前説明－写真入りとイラスト入りの選択式パンフレットを取り入れて－/岩手県看護研究学会（2014）
菊池 佑弥	地域包括ケア講座	助教	修士 (保健学)	高齢者看護学 臨床看護学 基礎看護学	①文部科学省研究費補助金「課題名：薬剤の血管外漏出性皮膚傷害に対する新規評価指標に基づく効果的なケア方法の確立」（2025～2029年度） ②菊池佑弥，野里同，ドパミン塩酸塩の血管外漏出が皮膚傷害に及ぼす影響－血管収縮作用の異なるカテコラミン製剤での比較検討－，日本看護技術学会誌，24：47-51（2025） ③菊池佑弥，野里同，老年看護方法論におけるアクティブラーニングを取り入れた授業改善の取り組み，第17回日本医療教授システム学会総会・学術集会（2025） ④菊池佑弥，野里同，ドパミン塩酸塩の血管外漏出性皮膚傷害に対する罨法の効果に関する基礎研究，第44回日本看護科学学会学術集会（2024） ⑤菊池佑弥，舘向真紀，野里同，武田利明，カテコラミン製剤の血管収縮作用が血管外漏出性皮膚傷害に及ぼす影響，第42回日本看護科学学会学術集会（2022）

藤澤 純子	地域包括ケア講座	助教	修士 (看護学)	臨床看護学 基礎看護学	①文部科学省令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究：「胃瘻造設の代理意思決定支援に関わる看護師の教育プログラムの構築」2020年度～2025年度 ②舘向真紀, 中村一美, 春山祐美子, 藤井京子, 佐藤香里, 西村美和, 村松洋子, 藤澤純子, 三浦幸枝, 長期ケアに従事する看護師への体験学習を中心とした倫理教育プログラムの効果/第42回日本看護科学学会学術集会(2022) ③藤澤純子, 内海香子, 千田睦美, 高齢者の胃瘻造設を代理意思決定する家族に関わった看護師の体験/第38回日本看護科学学会学術集会(2018) ④藤澤純子,吉田祐子,田澤安絵,山口治加子,横浜優子,神経内科入院患者の転倒に対する認識/日本看護学会論文集 老年看護. 43：46-49(2012) ⑤藤澤純子,遠藤真奈美,永田志穂子,吉田陽子,自作体動コールを使用した転倒・転落防止の実態/第49回全国自治体病院学会(2010)
佐々木 里美	地域包括ケア講座	助手	学士 (看護学)	地域看護学 緩和ケア	①佐々木里美, 武内晶, 伊藤奈央, 高齢化率が高く医療資源の少ない地域に住む高齢者の希望する最期の療養場所および緩和ケアに関する意識調査/Palliat Care Research . 20(1): 57–62(2025)